

会 議 記 録

会議名称	第 11 回 会津坂下町新庁舎建設検討委員会
開催日時	令和 4 年 7 月 12 日（火）10：00～11:30
開催場所	役場 3 階大会議室
出席者	委員 14 名 「町長」「副町長」事務局：3 人

<会議内容>

報告・協議

☆町長が議長を担う

（１）今までの経過

（班長より説明）

（委員）

請願について、提出した団体の詳細はどうなっているのか。不明な部分が多い団体ではないか。

（事務局）

常任委員会においても同様の話題があった。十数名の団体でまちづくりに関する話をしている団体である。

（委員）

活動実態がない団体の請願受けたのか。

（事務局）

常任委員会の際に説明はなかったが、実態はある団体である。

（委員）

代表の方は必ずしも現建設場所を否定する請願ではないとのことだったが、議会からの意見書には、建設場所についても協議せよという内容の意見書ででてきているのはなぜだという気持ちがある。また、99条とは何かということで聞きたい。

（事務局）

99条は関係行政機関に意見書を提出することができるという内容。

（委員）

資料を配るので見て欲しい。

〇〇市議会報である議員が意見書の提出は地方公共団体の長に出すことはできないと掲載している。

（委員）

大事な資料のようなので、全員分コピーをお願いします。

【暫時休議】

（副町長）

請願を受けて総務常任委員会にて協議を実施し、地方自治法第99条にもとづく意見書の提出についても議決し、提出している。

（委員）

町長あてに出すことはできないのではないかな。

近隣町村等に同様の事例はあるか確認してもらえないかな。

町が受けていたのは間違っていたのではないかな。

（副町長）

過去にも同様の事例はある。

（委員）

議会が自分たちで議決したこと（新庁舎建設予定地について）に関して、意見書を提出するということが自体おかしいのではないかな。

（副町長）

今現在の予定地を却下するためのものではない。4年が経過して、本当にこの場所でよかったのかどうか再度協議すべきではないのかという意見もあり、常任委員会で協議し意見書を提出している。

（委員）

手続き上にも色々あると思うが、大事なことはこの委員会において建設場所について再度協議するのかなということだ。

（副町長）

意見書の中でも様々な意見を聞いて欲しいということであった、これから町長自身も若者との懇談会を実施し、意見交換を行う予定である。

（委員）

意見を聞くことは大賛成である。しかし4年経過して町の財政状況が裕福になったわけでもなく、新たに土地を取得して進めていくような状況なのか。懇談会で広い意見を聞いていくのはいいが、逆にいろんな意見がすぎて決めきれないのではないかな。町はどうやって決定していくのか。

（副町長）

50年後を見据えてどういう庁舎であるべきであるのかということを考えて場所や中身を決めて

いかなければならない。基本構想を詰めていく中で、どのくらいのスペースが必要なのか算定していく。例えば、町の公用車も一極集中していきたいと考えているし、ゼロカーボン宣言の中でEV車用の施設も必要だ。そのためにどのような広さが必要か、現予定地にそれが入るのかということも考慮しなければならない。来庁者や複合施設のスペースも含めて必要に足る面積を確保できるようにし、最終的に町長判断にしていきたい。

（委員）

以前の検討委員会でも、そういった中身も考慮している経過はある。

50年後、人口はどうなっているのか、人口が減ったら公用車だって20台も30台も必要ないのではないか。

（副町長）

あくまでも持続可能なまちとして進めている中で、人口についても減らないようにと進めている。

50年後も会津坂下町は持続しているという前提で現在の事業は進めていく。

（委員）

再度確認だが、建設場所を今回検討内容にいれるのかが知りたい。それによって、まちづくりや公用車の話なんかも変わってくる。

（副町長）

場所について、町民の意見を広く聞き、議決を受けている現予定地も含めて再度検討し、最終的には町長判断としたいと考えている。

（議長）

意見書の取り扱いについては、再度確認させていただき次回の検討委員会で報告します。

この後、これからの進め方ということで協議事項等あるようだが、今回は承認を求めないこととする。各々の庁舎建設事業全般において意見等をお聞きしていきたい。

（委員）

前回延期が決定してから4年経過しており、町中においても変わったことが多い。また、これからも色々と決定していくこと等あると思うが、各団体を代表している委員の方々が各々の目線で検討し、最終判断は町長であるべき。

（委員）

委員の方々に一人ずつ意見を聞いてみてはいかがか。

（委員）

前回の検討委員会には参加しておらず詳細はわからないが、個人的には現在の予定地ではない方がいいと思っている。現在の建設予定地についてだが、この場所がなぜベストだったのかという

ことに疑問があるため、詳細に知りたい。

(委員)

役場は町の中心にあるべきと考えている。役場の場所が変わることで街の中心から人がいなくなるようなことはないようにしたい。

(委員)

みさとのじげんプラザを見たが、駐車場も広くバスのロータリーもあった。

坂下の路線バスも南幹線を通って厚生病院内ロータリーをまわるルートとなっており、人の流れだって変わっている。そもそも駐車場自体足りない。ここに決まったことは本当にベターだったのか。ここに建設して、万が一駐車場が足りないなどということがあったらと不安がある。

(委員)

区長自治会長会は、旧坂下町内とそれ以外という立場が入り混じっている。そこでの建設場所についての意見はまとまらないだろう。

(委員)

前回の答申の際にも、私の意見は現予定地ではないほうであった。大きな問題は駐車場の件である。振興計画の策定にも参加していたが、今の時代の流れが早い中で、10年という長期スパンの計画が必要なのかともその際思っていた。4年経過したが、社会情勢は大きく変化している。今回、このような請願がだされたのも当然のことだなと考える。

(委員)

前回の答申は遵守したいと考えている。時間が経過すれば様々な変化や問題等もでてくる、それに対してどうやって解決していこうかと考えていくことが検討委員会の仕事だと思っている。

(委員)

意見書が出された過程について疑問があったので、そこについて聞くことができてよかった。建設場所については、今の場所がちょうどいいのではないかと考えている。役場に町民が来庁する頻度はそう多くはないだろうと考えているため、そこまで大層なものが必要なのか。

地元としては、町民体育館のように解体してアスファルトだけなどというような形にはしないでほしい。やるのならしっかりと実施してもらいたい。

(委員)

個人としては、前回南幹線の土地になるのではないかと考えていた。昔の中心地の活気をみてきた身としては、現在の空洞化は寂しくも感じる。これからの検討会でいったい何を議論していくのかがいまいちわからない。

(委員)

子育てという目線で話すが、町の中心に役場があり、ベビーカーを押して街中を歩いていくような姿が理想だと考えている。この検討会ももっと若い人がいていいと考えており、これからの将来を担う、若い人が考えるまちづくりであるべき。

(委員)

仕事上、防災拠点と呼ばれる施設に行くことが多いが郊外にあることが多い。
防災ヘリの着陸スペースの確保や、大型車両の乗り入れ等のために広い道路に接している必要があるため。

(委員)

災害の際に間違いなく機能する役場が必要だ。中身というより、町民の暮らしを間違いなく守れるものであってほしい。

(委員)

今現在の足踏みしている時間が無駄ではないかと考えている。

(委員)

以前の仲町商栄会の会長さんが、役場がなくなると仲町でお昼ごはんを食べてもらえなかったり、役場に来庁する方々一日100人程度はいてその客足が重要だと話されていた。
もし役場の場所が変わったとして、今の商店街をどうしていくかという話が以前からでていたが、役場に客足を頼るような商店街ではだめだと考える。個性がありがんばって有名になっている商店さんもたくさんいるので、役場などという事務的なものは外部にいき、街中に広い駐車場を作りそうやって商店街を活性化できればいいなと考えている。坂下町の商店街を見直すきっかけではないかと思っている。

(町長)

様々な意見ありがとうございました。
今回の委員は様々な団体の長の方々だが、委員の定数に余裕もあることから、各地域づくり協議会から代表でだしてもらおうことで7地区全てから入ってもらおうようにしたいと考えている。

(委員)

初めて検討会に入る方も多いので、今までの議事録を配布するべきではないか。

(事務局)

作成してありますので、次回までに配布するようにします。

